

◆ カメラに写ったけものたち ◆

● アナグマ *Meles anakuma*

日本の固有種。房総のむらでは2021年に定点カメラで初めて撮影されました。タヌキに似ているものの、顔が細長く、足がタヌキよりもガッシリしています。標本で見比べると、耳は白色で小さく、目の周りの黒い模様は縦に伸びています。

千葉県北部でのアナグマの生息地は少なくなっており、房総のむらで確認されたことは貴重な記録です。旧御子神家住宅周辺と下総の農家の水田で撮影されていますが、その回数は2021年～23年の間に4回と少なく、アナグマが房総のむらでどのような生活をしているのかよくわかっていません。



下総の農家(水田)

● アライグマ *Procyon lotor*

もともとは北アメリカに生息しますが、有名なアニメの影響で飼育ブームが起こり、ペットとして輸入されたものが放獣されたり、逃げ出すなどして、野生化した外来種です。

タヌキに顔や姿が似ていますが、縞模様の尻尾、5本指の手が特徴です。上総・下総の農家付近の水田や旧御子神家住宅周辺で撮影されました。撮影された場所は水田などの水辺が多いため、アメリカザリガニやカエルを探しているのかもしれません。

家の屋根裏等に棲みつくやっかいものですが、房総のむらではまだ被害の報告はありません。今後、動向を注意しなければいけない「けもの」のひとつです。



下総の農家(水田)

● タヌキ *Nyctereutes procyonoides*

農家エリアを中心に、館内の様々な場所で足跡を見ることができます。定点カメラでも一番多く撮影され、房総のむらでもっとも記録の多い「けもの」です。カメラを警戒することもあるれば、カメラを気にせず、自由気ままに活動することもあります。決まった場所に複数の個体がトイレをする「ため糞」という習性があり、臭いなどで情報を交換しているのではないかと考えられています。房総のむらでは4ヶ所で見つかり、その内容物を調べると、木の実や小鳥等を食べていることがわかりました。



下総の農家(水田)



安房の農家(庭)



旧平野家住宅(庭)

● ハクビシン *Paguma larvata*

ハクビシンは台湾から毛皮を取る目的で移入され、野生化した外来種です。房総のむらでは、上総・下総の農家の水田や果物がなっている木の周辺にやって来ます。長い尻尾を上手に使い、細い枝や電線に登ることができます。2022年までは定点カメラにたまに写る程度でしたが、ビワやキンカンなどの木の近くに定点カメラを設置したところ、写ることが多くなりました。ハクビシンは木登りが得意なため、家の屋根裏に侵入するという被害が各地で相次いでおり、房総のむらでも注意しなくてはなりません。



上総の農家(水田)



上総の農家(果樹園)



安房の農家(庭)

●ニホンノウサギ *Lepus brachyurus*

日本の固有種。2020年～2021年には農家の畑や水田で定点カメラによって撮影されましたが、2022年以降、撮影されなくなりました。しかし、その後も目撃情報はあり、2023年の秋には、武家屋敷の裏側の雑木林で目視され、下総の農家の水田、上総・安房の農家の畑で足跡が見つっています。水田の周りの草や作物を餌としているのでしょう。

生息情報はあっても、なかなか撮影できない「けもの」を、どうしたら定点カメラで撮影できるか、今後の課題です。



上総の農家(畑)



下総の農家(畑)



下総の農家(水田調整池)

●ニホンリス *Sciurus lis*

日本の固有種。若芽や木の実などを餌とします。特に松の種子が好物で、ニホンリスが種子を食べたあとの松ぼっくりは、エビフライのような形にかじられていました。

千葉県の上総地域では、近年、松枯れ病の流行や開発などによって、松林が少なくなり、ニホンリスの生息地域は年々減少しています。風土記の丘資料館付近では、1985年から継続的に生息調査が行われており、5尾のニホンリスが確認された年もありましたが、2008年を最後に生息は確認されていませんでした。しかし、今回の動物調査で、上総の農家エリアの雑木林に定点カメラを設置したところ撮影に成功し、15年ぶりにニホンリスが確認されました。



上総の農家(雑木林)



古墳広場周辺(矢竹一穂氏撮影)

●ニホンイタチ *Mustela itatsi*

日本の固有種。房総のむらでは、上総・下総の農家の水田で定点カメラで撮影されています。定点カメラで撮影された「けもの」では少数派の昼行性の種で、昼間にも上総の農家の水田や安房の農家で目撃例があります。かわいらしい顔をしていますが、肉食動物で小鳥やアメリカザリガニなどを食べて生活をしています。



上総の農家(水田調整池)



下総の農家(水田付近)



下総の農家(水田)

表 2020年から2023年の間に房総のむらで確認された「けもの」

●は確実な記録、▲は不確実ながら可能性の高い記録

No	種	学名	定点カメラ	足跡	糞	食痕	目撃情報	死体	その他
1	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>	●			●			
2	アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>				▲		●	
3	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>	▲		●		●	●	駆除
4	ニホンノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>	●	●		●	●		
5	アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>					●	●	
6	アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>					●		音波探知機
7	イエネコ	<i>Felis catus</i>	●				●		
8	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>	●		●	●	●		
9	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonides</i>	●	●	●	●	●	●	
10	アナグマ	<i>Meles anakuma</i>	●						
11	ニホンイタチ	<i>Mustela itatsi</i>	●	●	▲		●		
12	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	●	●					